

# 日本食品保健指導士会会報

〔第21号〕

■発行：平成20年10月1日

■発行所：日本食品保健指導士会

東京都新宿区市谷砂土原町2-7-27 TEL. 03-3268-3160 FAX. 03-3268-3135

(財団法人日本健康・栄養食品協会教育研修部内)

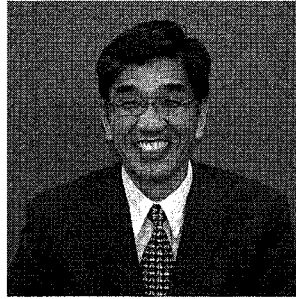
## 『表示を読み取る技術と

## 消費者への情報提供』

(株)ユーエスキュア 代表取締役社長

CRN JAPAN 副理事長

臼 杵 孝 一



制度化されている食品表示としては、保健機能食品(栄養機能食品、特定保健用食品)、特別用途食品がある。また、一般食品として栄養成分表示(健康増進法第三十一条栄養表示基準)、JAS法(加工食品品質表示基準)など基本ルールに基づき表示される。

食品保健指導士は健康食品(保健機能食品、健康補助食品など)について正しい情報を消費者の皆様へ説明できる専門家であり、製品の持つ様々な情報を「表示」から読み取る「技術」が要求される。健康の維持を目的に製造・販売される健康補助食品は保健機能食品とは異なり定義や表示制度が定められていないため、その表示から製品特徴を理解するためには「知識」以外の読み取る「技術」が要求される。

技術は一朝一夕では身につかない。知識をベースに経験がその技術を磨く。食品保健指導士に望まれることは多くの現場(製品)に触れることである。

食品表示にはネガティブ(安全性)とポジティブ(有用性)があり、開発者(製造者)は限られた表示面積の中で製品特徴を消費者に伝える努力をしている。

しかし、健康補助食品の有用性は制度上、表示できな

い。表示はないが、機能(栄養成分やその他機能成分)は存在する。また、安全性を議論する場合、摂取条件や摂取当事者の状態などを無視できない。

制度の外に置かれた健康補助食品から発信する情報は原材料名や栄養成分表示など限られた表示から読み取ることになる。原材料名はJAS法に基づき一般名で表示される。例えば〇〇末と〇〇エキス末では基原材料は同じであっても製法が異なり、安全性や作用は同じではない。一般の消費者がこれを読み取るのは極めて難しい。

また、原材料には食品添加物も多く使用されているが、キャリアーオーバーとして表示されない食品添加物もある。また、アレルギー表示や遺伝子組換え食品、複合原材料など一定のルールに基づき表示されている。表示を読み取る技術以外に薬との相互作用、他の健康素材との相乗・相互作用など、消費者からの疑問に応える表示を読み取り、表示を補完するアドバイスを提供する消費者における食品保健指導士の役割は大きい。

食品に対する消費者の信頼はこの数年、大きく揺らいでいる。産地偽装牛肉や賞味期限改ざん、最近では米販売会社「三笠フーズ」の事故米を食用と偽る悪質な事件があり、消費者の怒りや不安が増幅した。

健康食品にはこのような問題は起こっていない。二〇〇五年二月一日厚生労働省医薬食品局食品安全部長通知の「錠剤・カプセル状等食品の適正な製造に係わる基本的考え方について」及び「錠剤・カプセル状等食品の原材料の安全性に関する自主点検ガイドライン」が出され、健康食品製造者、原材料取扱事業者の安全性、品質向上への取り組みが加速している。財団法人日本健康・栄養食品協会健康補助食品GMP認定工場は四十三製造所を数え、消費者の信頼に応える製品づくりの環境が整いつつある。製品と食品保健指導士、ハードとソフトが整うことで安心が生まれる。今後の皆様の活躍を祈りたい。

## 日本食品保健指導士会の 最近の活動状況

日本食品保健指導士会 会長 関本 邦敏



指導士会会員の皆様、今夏の異常な猛暑を気力と体力で乗り切られたものと思います。猛暑といい、集中豪雨といいなんとなく亜熱帯型に取り込まれてきたのかと思わせる夏でした。これは温暖化の影響でしょうか？これからの季節は活動に最適な時期になりますね。指導士としての本来の活動に邁進しましょう。今回は、最近の指導士会の活動状況についてご紹介いたします。

今期の総会でお約束いたしましたホームページの立ち上げと公開を致しました。特に会員のページについてはセキュリティの関係もあり指導士会に加入いただいている指導士にIDとパスワードを差し上げ、見て頂けるようになりました。皆様の相互交流のツールとしてお使いいただければ幸いです。我々幹事会としてもタイムリーに情報を発信してまいります。皆様もぜひ情報を寄せ下さい。

日本健康科学学会第二四回学術大会（九月二七、二八日：女子栄養大学）において「アドバイザリースタッフの活性化を考える」健康寿命九〇歳の実現を目指して」と題するシンポジウムが設定されました。司会を石田元健

康食品部長が行い、三名のシンポジストの講演とパネルディスカッションが行われました。

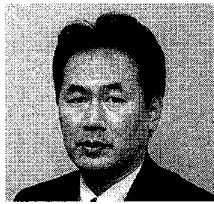
「消費者側が求めるアドバイザリースタッフ像」として国民生活センターの宗林さおり氏が、「日健栄協の新しい教育カリキュラムについて」として協会の斎藤悠子職員が、「食品保健指導士の現状とこれから」として私が講演を致しました。このような食品保健指導士をPRする機会を与えて頂いたのは本学会の会長であり、指導士養成講習会の講師でもある信川益明先生のご配慮によるところが大きい。信川先生は医師ですが食と健康に関する深い思いがあり、協会の指導士養成講座の講師を務めて頂いておりますので、われわれ食品保健指導士に対するご理解と活動への期待を誰よりも強くお持ちだと受け止めております。

指導士会の地区活動として、従来から開催されていきました東京地区の集いが八月から東京支部（会長：田中吉春指導士）として新たに活動を発展的に開始しました。指導士の有資格者の約六〇%が関東地区にいます。この地域での指導士相互の交流は指導士会の結束を図る意味からも重要です。八月二二日に第一回支部講演会を、石田健康食品部元部長を講師として開催し、引き続き九月一九日に第二回支部講演会を開催し、積極的な活動に発展させており、大いに期待しているところです。関東圏の方はぜひご参加ください。また、先行する千葉支部（会長：吉池修指導士）についても交流勉強会を継続しており、こちらも九月二三日の午後二時から講演会と懇親会が行

われました。

これからは出来るだけ多くの地区に支部をお作りいただき、同じ地域の仲間との交流を通して助け合い協力し合いながら切磋琢磨して頂きたいと考えております。指導士会としても少ない予算ですが支部への支援金を出すことで応援してまいります。関西地区は早くから活動をしており四月に名古屋で集いを開催していましたが、支部としての活動に発展して頂けるように支援してまいります。また中部地区や東北地区、九州地区など順次中心になつていただける方を掘り起こしていきたいと考えております。

指導士会の活動もゆつくりではありませんが、指導士のボランティア精神と仲間意識に支えられて広がりを見せております。また忘れてはならないのが外から暖かく支援して下さる方々がいることです。これらの方々への感謝を表すことは、何よりもご期待にこたえることでしょうか。即ち、日々の活動の積み重ねによつて消費者の健康増進と元気で長寿の究極の目的に指導士が関与し貢献する姿だと思えます。企業内の指導士にあつては、個人の健全な発展に貢献して頂きたいし、個人事業主である指導士にあつては、直接間接に消費者の求める健康志向に対して適切な指導をして頂きたいと願っております。そのためには継続して情報の収集と新しい知識の吸収を出版物はもとより生の情報として学会や研修会に機会あるごとに参加し自身の引き出しを広げるように心がけることが大切ではないでしょうか。



## 日本食品保健指導士会 Web ページに関して(2)

幹 事 阿 部 真

ようやく日本食品保健指導士会の Web ページが立ち上がりました。URL は <http://www.jfqao.jp> です。是非ご覧ください。しかし、まだまだ未熟なものです。これから、皆様のお力によってぜひ育てていただければと思います。良い、悪いなどの感想、その他何でもかまいません。皆様のご意見・ご要望などお寄せいただくことで、より良い Web ページに成長させることができますと思います。

また、日本食品保健指導士会事務局からの情報伝達だけでなく、会員の皆様からの日常的な情報の発信が可能です。この情報ステージを大いに活用していただけるよう期待しております。

現在 Web ページの運営は、一部の会員の方にボランティアにてご協力を頂いております。少しずつですが、更新も進めております。専門的技術がある方は勿論、イラスト、文章が得意な方、コンピュータはわからないけれどもやってみたいなど、どなたでもかまいません。短期間でも、限定した内容に関するもののみでもかまいません。ご協力いただける方を募集しております。各年代の会員の感性と知恵と活力を反映した Web ページにしたいと考えております。ぜひとも一人でも多くの皆様のご協力・ご支援をお願いいたします。

なお、会員のページを閲覧するには、**ID**および**パスワード**が必要です。メールにてお名前、連絡先メールアドレス（携帯アドレスは不可）、食品保健指導士登録番号をご記入の上、メールにて下記連絡先へお願いいたします。追ってメールにて ID、パスワードをお知らせいたします。

連絡先は、[info@jqao.jp](mailto:info@jqao.jp) になります。（ご協力いただける方もこちらのメールアドレスまでお願いいたします。）

なお、ID、パスワードの発行は、会員の方に限らせていただきます。（会費納入者に限ります）ご了承ください。

日本食品保健指導士会は皆様のお力にて運営させて頂いております。

ご協力をお願いいたします。

協会も本年からフォローアップ研修を開始されますのでぜひご参加頂き、新たな知識の補充とともに、参加した指導士との情報交換を通して親交を深めることで、人脈も広がり互助精神も深まります。また機会があれば積極的に消費者の集いなどで講師をされることも重要です。指導士

会としてもあらゆるルートを通して講師の派遣ができるようにしてまいります。あらゆる面から指導士会としても皆様の求めていることの手助けができるようにしていきたいと考えております。そのためには皆様の声をぜひお聞かせいただきたいのです。その手段としてはHPへの情報提供あるいは質問、東京支

部、千葉支部、関西支部などへの参画、秋期研修会への参加などをご利用ください。指導士が広く認知されるまで頑張ってください。よう。指導士会の活動にご理解とご参加を宜しく  
お願い致します。



《特集》  
食品保健指導士の

職場を訪ねて⑤

合同会社TONTON 代表

早川 洋子さん



・東京都八王子市出身  
・昭和五九年、東京都立川短期大学卒／栄養士  
・昭和五九年、キューピー㈱に入社、研究所にて食品開発に従事  
・平成五〇年、八王子地域栄養士会所属、副会長・役員を歴任  
・平成九年、管理栄養士の資格取得  
・以後、企業、薬局、クリニック、病院等において栄養指導を実施  
・平成一七年、開業栄養士登録  
・平成二〇年、合同会社TONTON設立／代表  
・平成一六、二〇年／学会発表  
・他の資格／食品保健指導士、西東京糖尿病療養指導士、健康運動指導士、THP産業栄養指導者

今回は、開業栄養士として大車輪の活躍をされている食品保健指導士(以下指導士と記す)の早川洋子さんにスポットライトを当てることにしました。

九月一二日、一七時三〇分、JR東京駅改

札口にて、関本会長と杉浦事務局長の二人で早川指導士を出迎えました。

当日、早川指導士は、仙台出張でした。多忙の早川指導士に無理なお願いをし、出張帰りの寸暇にインタビューに応じていただいた次第です。

努力して管理栄養士の資格を得ました。

(関本) お帰りなさい。本日は出張帰りのお疲れのところ、インタビューに応じていただきありがとうございます。

(早川) いいえ、こちらこそ、お待たせして申し訳ありませんでした。

(関本) 早川さんとは、昨年の一〇月以来、(財)日本健康・栄養食品協会(以下日健栄協と記す)で随時開催されるQ&A委員会\*でお会いし、顔馴染みになりましたね。

(早川) なにかと忙しいもので、今まで、あまり日健栄協や日本食品保健指導士会(以後指導士会と記す)の催事に顔を出す機会がありませんでした。Q&A委員会では、多くの指導士とお会いでき嬉しく思っています。また、改めて健康食品は幅が広く、多くの知識を必要とすることを思っています。

(関本) とところで、早川さんの出身校都立立川短期大学は、私の家内の出身校ですよ。

(早川) えくそうだったんですか、それは光栄です。

(関本) とところで、早川さんは、卒業後、すぐキューピー㈱に入られたのですね。

(早川) そうです。キューピー㈱の研究所に

配属となりました。

(関本) 健康食品もタッチされたのですか？(早川) その頃は、健康食品は一切しておりませんでした。私は主に、ミートソースやピナツツバター、クリームなどのレトルト食品や缶詰の開発を担当していました。

(関本) 当時は、私は日本農産工業㈱でヨード卵の研究をしていた頃ですが、キューピーさんの研究所には何度かおじゃましましたことがありますね。

(早川) そうでしたか。世間は狭いですね。(関本) 当時は、栄養士だったんですね。管理栄養士の資格はどのように？

(早川) 卒業してからも母校とは何かとつながりがあり、折にふれ、恩師たちから、ぜひ管理栄養士の資格を取得した方がよいといわれていました。私も医療現場での栄養指導の仕事(管理栄養士の資格が必要)をしたいと思いはじめ、お稽起し、幸い合格しました。

(関本) 立派ですね。相当勉強されたんですね？

(早川) あのと看ほときほど勉強したことはなかったかもしれせんね(笑)。

\* Q & A委員会：平成一九年一月から、日健栄協の健康食品部が主管部署となって活動しているプロジェクトチーム。目的は、指導士や一般消費者にJHFAマーク製品に係る概要全般の情報を提供するための図書作成。委員として一〇名の指導士が参画しています。

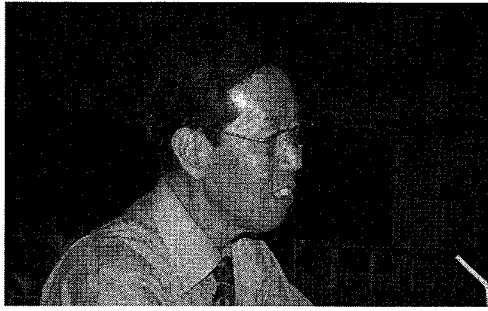
指導士は、生涯学習が必要だと思えます。

(関本) 食品保健指導士の資格を取得された動機はどのようなことでしょうか？

(早川) サプリメントが市場に多数出回るようになり、カウンセリングするに当たり正しい知識を持ちたかったことと、管理栄養士の資格に付加価値をつけ、クライアントから信頼感をもってもらいたいと思ったからです。

(関本) 実際、指導士の資格を取得してみたいかがですか？

(早川) 指導士の養成講習会の内容が、法律、表示、安全性など広範囲であって、改めて奥の深さを知りました。資格を頂戴した直後の実感は、これから勉強を継続していくことの



## 日本食品保健指導士会 関本邦敏会長



談笑する関本会長と早川指導士

大切さを感じました。

(関本) 本当にそうですね。指導士会でも生涯教育の重要性を考え、毎年、一月に東京と大阪で指導士会主催の「秋期研修会」を開催しています。また今年から、日健栄協でも補講研修が予定されています(平成二〇年一〇月、平成二一年二月予定)。

(早川) 今までは、日健栄協が開催しているJHFA素材勉強会に二〜三回ほど参加した程度でした。指導士会主催の研修会には出席したことがなかったですね。もったいなかったと思います。これからは、ぜひ積極的に出

席できるようにしたいと思います。

(関本) これから指導士の資格の更新制度もスタートしますので、せいぜいご利用くださるとよいと思います。

(早川) 分かりました。

健康は、栄養以外の要素も大事です。

(関本) 早川さんは、いろいろな資格をお持ちですね。THP産業栄養指導者という資格はどのような資格ですか？

(早川) 厚生労働省では、働く人の健康の保持増進に資するため、昭和六三年からトータル・ヘルスプロモーション・プラン(THP)を愛称として、働く人の心とからだの健康づくりを推進しています。産業界を中心として、栄養指導担当者、産業保健指導担当者、運動指導担当者などがその指導にあたえるわけです。私は企業内での健康・栄養のカウンセリングをする際に役立つと思いました。

(関本) 西東京糖尿病療養指導士とは？

(早川) NPO法人西東京臨床糖尿病研究会が認定する資格で、自己管理を必要とする糖尿病患者さんに対して、糖尿病の正しい知識と理解を持ち援助のできるコメディカルを育成することを目的としています。この資格は、病院やクリニックでの栄養指導に必要だと思いでました。

(関本) もうひとつ、健康運動指導士というのは、(財)健康・体力づくり事業財団が認定している資格ですね。

(早川) そうです。健康は栄養指導だけでは

だめなので、運動指導もできるようにと思い資格を取りました。

(関本) いやあ、感服しました。早川さんはたいへんな勉強家ですね。そのように努力を続けられる源泉は何なのでしょう？

(早川) 独立して、様々な仕事に携わってみて、指導者の責任として、サプリメントや運動療法、生活習慣病関連の知識を深める必要があることを思い、勉強することにしました。

(関本) 働きながら、新しい勉強をし、次々と資格を取るは大変ではなかったですか？

(早川) そうですね。でも目的を達成しようという意欲がありましたので、何とかがんばれました。むしろ学費の方が大変でした。(笑)

クライアントや患者さんが好きです。

(関本) 早川さんの会社、TONTONのホームページを見ました。この社名の意味はなんでしょうか？

(早川) そうですね。私は、もともとこのトントンというポジティブな言葉の響きが好きだったので。クライアントや患者さんとの関係において、相手の肩をトントンとやさしくたたいてあげる、健康づくりがトントンといく、結果として信頼関係もトントンといくといったことを願って命名しました。

(関本) なるほど、ユニークな社名で覚えやすくてよいですね。ところで、開業栄養士さんの場合、個人事業主として青色申告で税務対応をされる方が多いと思いますが、なぜ会社組織にされたのですか？

(早川) 社員の健康管理業務で契約している会社から、法人化してほしいと要望されて、急遽法人化しました。

(関本) そうだったのですか？

(早川) この四月から特定健診・特定保健指導制度が実施され、企業からの保健指導の需要が増えると思われるので、法人化してよかったですと思います。

(関本) なるほど。そうしますと、今、お仕事は特定保健指導関係が多いのでしょうか？

(早川) そうですね。今は、企業のコンサルティンクと特定保健指導、クリニック、産婦人科の妊婦さんへの栄養指導が中心となっています。

(関本) 健康食品に関する質問もありますか？

(早川) 健康食品の使用者の中には、誤った使用方法をしている人も少なくありません。その場合は、キチンと説明して納得して是正してもらおうようにしています。私は、状況によって健康食品は上手に活用した方がよいと思っていますので、お勧めすることもあります。例えば、野球やテニスに興味で真っ黒の社員には、日焼け対策としてビタミンCの摂取を勧めたりします。

(関本) 企業の社員の方は、早川さんの指導をよく聞いてくれますか？

(早川) そうですね。楽しそうにはしてくれません(笑)。相手の話を聞く事、分りやすく話す事が大事だと思っています。私は人の話を聞く事がとても好きなので、この仕事に向いていると思っています。

(関本) それはなによりですね。一般的にこのようなお仕事は、慣れてくると惰性的に処理しがちなことも少なくないと思います。

(早川) 私はそのように思うことはまったくありませんね。患者さんなども話しをしていると次第に好きになって、なんとか改善してあげたいとファイトがわいてきます。妊婦さんも可愛いと思って接しています。

(関本) そのように思えるというのは素晴らしいことですね。早川さんは、二〇〇六年から毎年、栄養改善学会で「企業における健診後の栄養指導の効果と臨床検査値による検証」等について、よい結果を発表されていますが、その大きな要因は、やはり、よい人間関係を確立していることが、よい結果につながるということでしょうか？

(早川) そうだと思います。やはりクライアントや患者さんに対して、上から見るのではなく、同じ目線で話し合い、相互の信頼関係が確立できることが大事だと思います。

(関本) これは、指導士の場合にも当てはまる大事なことですね。最後に日健栄協や指導士会への要望はありますか？

(早川) 日健栄協には、従来から実施しているJHFAマーク素材勉強会のような研修の場を拡充してほしいと思っています。指導士会には要望ではなく、多くの指導士との情報交換の場として活用したいと思っています。

(関本) 本日はありがとうございました。今後ますますのご活躍を期待しています。

(早川) 大いにごんばりしたいと思います。指導士会にも協力できるよう心掛けます。

## ◆ 提言 ◆

### 食品の偽装事件に思う

日本食品保健指導士会

会長 関本邦敏

昨今の食品の偽装表示、賞味期限切れ商品の再販売、食用不適米の偽装販売など、なぜ人間の健康維持に於てはならない食べ物から次へと問題を起すのでしょうか。企業のモラルはどうしたのでしょうか。日本を代表する商社や食品企業から老舗の料亭や問屋に至るまで金儲けのためなら何でもありの様相を呈しています。また検査機関までもが偽装の検査報告をするに至っては消費者は何をよりどころとして食べ物を選択したらいいのでしょうか。行政も抜き打ち検査や指導の手抜きといわれても仕方がないような対処をしています。

CS：顧客満足度を高めることが企業にとって最重要課題であるとか、コンプライアンスを重視して・・・など企業理念を社内に掲げ社員教育をしている企業も多くみられます。しかし現実はこの有様です。

いろいろな品格本が売れている昨今ですが、この裏返しで現実に起きているから売れているのでしょうか。

悪いことや違法を承知で商売をしているこ

とは昔からあったことですが、格差を是とし、勝ち組負け組などと堂々と評価する昨今、企業人のモラルも利益追求ノルマの前では目をむつてしまおうのでしょうか。

指導士の皆さん大半の方が企業に所属しています。自分の会社は大丈夫と自信を持って言えますか。会社は親で社員は子供というような関係が長く続いてきたのが日本の企業の強みでもあり、良い姿とされてきました。終身雇用・安定雇用との引き換えに企業への忠誠心を誓い、一生懸命に頑張った戦後世代から高度経済成長を支えてきた団塊世代のサラリーマンの姿でした。少子高齢化とともに経済の減速、世界中のインフレ経済下で日本のサラリーマンの体質も変わってきているのでしょうか。ワンマン経営者に真っ向から立ち向かうことなく、見て見ぬふりをする。そのことが結果として、企業を倒産に追い込んでしまうことに早く気づいてほしいものです。生活が懸っているとなかなか非を非として声を出す勇気がないことは理解できますが、その勇気のなさが自らの職場を失う結果になっているのですから。

古くは雪印乳業ばかり、ミートホープばかり、最近では三笠フーズもそうです。

永年にわたっておかしなことをしてきたのですから社内ではそれとなく判っていたのではないのでしょうか。早くに非を認めていれば倒産に至るまではいかなくなかったかも知れませんが。経営者に全責任があります、気づいていた人、知っていた人にも責任の一端はあると思います。

企業内の指導士の皆様は、どうお考えでしょうか。どうか客観的な目を失わないでください。世の中すべて役割分担で成り立っています。誰のために製造しているのでしょうか。誰のために販売しているのでしょうか。誰のために流通を担っているのでしょうか。誰のために検査をしているのでしょうか。

消費者にそっぽを向かれた企業は退場せざるを得なくなります。一度失った信用を取り戻すことは並みの努力ではできないことが問題を起こした企業の再生の姿を見ているとよく分かります。どうぞ他山の石として下さい。

絶対数が少ない指導士です。声が聞き入れてもらえないという悩みがあるかと思えます。しかし声を上げることで不利益をこうむるかも知れませんが、企業を救うことになるかも知れません。長い目で見たらどちらが自分らしく生きていくか胸を張れるのではないのでしょうか。指導士の存在が企業内でのアクセルにもなりブレーキにもなると評価されるまで頑張りましょう。そのためには自己研鑽を怠らないことが最も重要なことだと思います。指導士会の仲間とともに頑張りましょう。

### 〓 幹事会からのお願い 〓

「二〇〇八年度年会費」の納付をお忘れの方は、なるべく早く納付くださいますようお願いいたします。

食品保健指導士

◇ 活動レポート ◇

① 主催／東京都江戸川区

消費生活センター

『健康補助食品の活用法』

千葉県柏市 杉浦 上太郎

去る七月一九日、東京都江戸川区東部集会所にて、熟年者グループ（六五歳以上）の方を対象に『健康補助食品の活用法』について講演を行いました。参加者は一五名でした。

② 主催／多摩LAWクラブ

『健康補助食品の正しい使い方』

埼玉県朝霞市 橋口 幸子

去る八月六日、東京都国分寺市本多公民館において、『健康補助食品の正しい使い方』について講演をさせていただきました。

主催者の多摩LAWクラブは、東京都消費生活総合センターのステップアップ法律講座の修了生による任意団体で、二カ月に二回程度、一般市民向けの研修会や裁判傍聴会などを開催して、消費者力の向上を目指している

とのこと。当日は、一般市民も含めて一七名の参加となりました。

③ 主催／君津保健所管内

栄養士協議会

『特定保健用食品について』

千葉県柏市 杉浦 上太郎

去る八月二一日、千葉県君津健康福祉センター（君津保健所）において、同管内栄養士協議会の会員を対象として、『特定保健用食品について』の講演を行いました。参加者は三二名でした。

④ 主催／東北大学、東北放送、河北

新報社

共催／日本健康科学学会、日本計

画行政学会東北支部

後援／宮城県、仙台市、財日本健

康・栄養食品協会、他

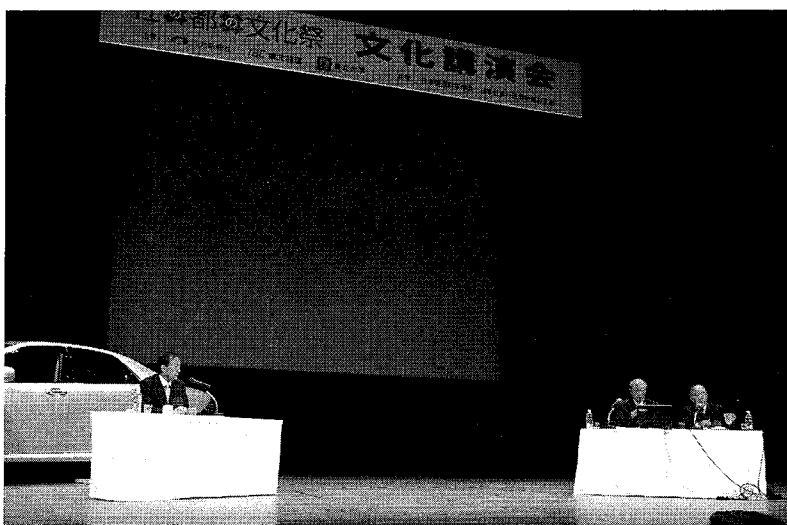
『杜の都の文化祭へ文化講演会』

〈健康フェア〉

〓 日本食品保健指導士会協力〓

去る九月一〜三日まで、仙台市の仙台市青年文化センターにおいて、杜の都の文化祭が開催されました。九月二日、日本健康科学学会の信川益明会長が「健康フォーラムヘルス

プロモーションにおける健康食品との付き合い方」について基調講演をされました。その後、「サプリメントの現状と適切な選択」という演題の基、財日本健康・栄養食品協会健康食品部元部長の石田幸久氏が「わが国における健康食品の現状」を、また、日本食品保健指導士会事務局長の杉浦上太郎氏が「アドバタイザリースタッフとしての食品保健指導士の役割りと活動事例」を発表しました。会場の参加者との間で熱心な質疑応答も行われました。



シンポジウム風景／左から信川会長、石田先生、杉浦事務局長

## 《支部活動状況》

\* 在来の《地区活動状況》を改め  
《支部活動状況》とします。

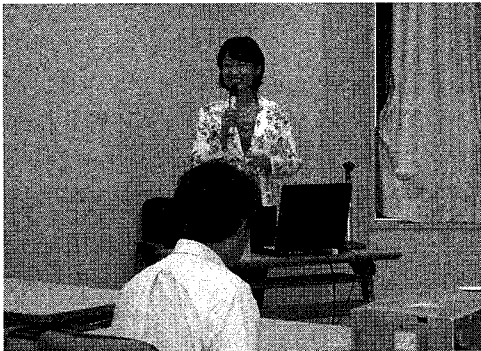
### 東京支部主催／第一回講演会

- ・日時／平成二〇年八月二二日（金）  
一八時～二〇時
  - ・場所／(財)日本健康・栄養食品協会（以下  
日健栄協と記す）三階会議室
  - ・講演／「食品保健指導士に期待するもの」
  - ・講師／日本健康科学学会（日健栄協 元  
健康食品部長） 石田幸久 先生
  - ・出席者／二三名
- 東京地区が正式に支部となりました。初めての記念すべきセミナー開催となりました。当日は、人気の高い石田先生に協力をいただき、二三名の指導士が参加しました。
- 石田先生から、サプリメントの位置づけ、科学的根拠と表示、機能性と安全性のバランスを中心に、現在の市場の状況や食生活の現状など興味深い講義をしていただきました。行政動向やOTC医薬品との対比などを例示されながら本音で語られた講義は圧巻でした。私たち指導士は、さまざまな事情を踏まえた上で、消費者に納得いただける指導、結果の出る指導をしていかなければならない責務を改めて痛感し、身の引き締まる思いがしました。

セミナー終了後は懇親会を開催。石田先生と参加者及び日健栄協の長谷川課長、岩浪課長も参加されて楽しいひと時を過ごしました。  
(松山理恵子記)

### 東京支部主催／第二回講演会

- ・日時／平成二〇年九月一九日（金）  
一八時～二〇時
  - ・場所／(財)日本健康・栄養食品協会（以下  
日健栄協と記す）三階会議室
  - ・講演／「現代社会に求められている食品  
保健指導士とは!？」  
「結氣膳を活用して」
  - ・講師／管理栄養士・フードセラピス、食  
品保健指導士 丸茂ゆきこ先生
  - ・出席者／二一名
- 八月に続いて二回目の講演会の開催。



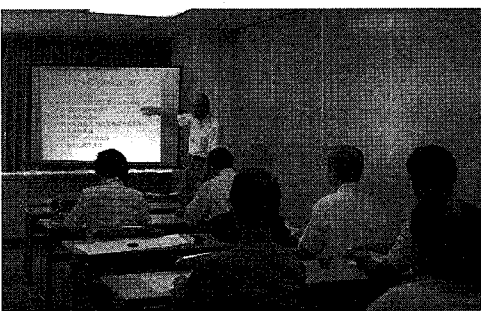
今回は、独自の栄養と健康の哲学で、幅広く消費者の指導活躍をされている丸茂先生に講師をお願いしました。

基本を東洋医学の陰陽五行説におき、おいしさ、楽しさといった食事の二次

機能や、患者さんや消費者との人間関係を重視することの大切さ等を熱く語られ、盛況裡のうちに終了しました。  
(松山理恵子記)

### 千葉支部主催／第一回講演会

- ・日時／平成二〇年九月二三日（月）  
一四時～一六時
  - ・場所／千葉市文化センター九階会議室
  - ・研修／「食品保健指導士に期待するもの」  
：：サプリメントの課題を中心に  
して」
  - ・日本健康科学学会（日健栄協 元健  
康食品部長） 石田幸久 先生
  - ・出席者／一七名
- 吉池修千葉支部長の司会のもと、関本会長挨拶、杉浦事務局長の幹事会報告、石井元幹事のお知らせの後、先般、東京支部の第一回講演会で大好評だった石田先生の講演に移りました（講演内容省略）。終了後、石田先生を囲みでの懇親会を実施しました。乾杯の音頭は、いつも講演会場をチャーターするなど陰働きで貢献されている石川公子指導士。今後の益々の活躍を期して散会となりました。  
(石井富佐恵記)



# 日本食品保健指導士会 「平成20年度秋期研修会」開催のご案内

恒例の「秋期研修会」を下記のとおり実施いたします。  
万障お繰り合わせの上、ご出席の程お願いいたします。

## 《東京会場》

- 開催日時：平成20年11月15日（土）、13時30分～16時
- 開催場所：（財）日本健康・栄養食品協会 3階会議室  
東京都新宿区市谷砂土原町2-7-27
- 開会の辞：13:30～13:35 日本食品保健指導士会 会長 関本邦敏
- 講演：13:35～15:35  
『健康食品の行政動向と食品保健指導士の役割発揮』  
榊皇漢薬品研究所 学術調査室室長 早川明夫 先生  
15:35～15:45 『休憩』  
15:45～16:00 『質疑応答』

## 《大阪会場》

- 開催日時：平成20年11月22日（土）、14時～16時15分
- 開催場所：新大阪丸ビル本館 1011号室  
大阪市東淀川区東中島 1-18-5
- 開会の辞：14:00～14:05 日本食品保健指導士会 会長 関本邦敏
- 講演：14:05～16:00  
「メタボリックシンドローム特定健診制度  
保健制度と機能性食品（最新情報も含めて）」  
日本食品保健指導士会 副会長 池田千恵子 先生  
16:00～16:15 『質疑応答』
- 懇親会：会場 ニューオオサカホテル  
時間 17:00～19:00  
懇親会費 2,000円

- 研修会費：・年会費払込者 1,000円  
・年会費未納者 2,000円  
当日会場にて頂戴いたします。また年会費の納入も受け付けます。
- 申込方法：別紙「平成20年度秋期研修会開催案内書」に記載の「申込書」に必要事項を記載の上、FAXにてお申し込み下さい。
- 申込期日：東京会場分／平成20年11月7日（金）、17時までのFAX到着分まで。  
大阪会場分／平成20年11月14日（金）、17時までのFAX到着分まで。
- 主催：日本食品保健指導士会
- 後援：財団法人 日本健康・栄養食品協会